

令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

国語

言葉に関心を持ち、様々な情報から内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、根拠を明確にして自分の考えを適切に表現する学習をしましょう。

問題内容・得点状況等

一（１） 説明的な文章の問題

本文は、現代の情報社会における人間の在り方を問題視し、一人で思索する時間をもつことの大切さに言及した文章です。説明的な文章の内容や要旨を的確にとらえているかを問うています。得点率は64.3%でした。

問一は、指定された字数に従って、適当な語句を本文から抜き出す問題です。文脈の中における語句の意味を的確にとらえて、キーワードを探し出すことが大切です。

問二は、傍線部の内容を具体的に述べた部分が含まれる段落を本文から選ぶ問題です。文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨をとらえることが大切です。

問三は、傍線部の説明として正しいものを選ぶ問題です。抽象的な概念を表す語句などに注意して、文章を読み解くことが大切です。

問四は、空欄に入る最も適当な語句の組み合わせを選ぶ問題です。文章全体と部分との関係などを考え、内容を理解することが大切です。

問五は、どのような理由で書き手が考えを述べているのかを読み取り、まとめる問題です。論理の展開について思考し、判断した上で、読みやすく分かりやすい文章として表現することが大切です。

説明的な文章では、文章に表れている書き手のものの見方や考え方と、その根拠となる部分について、文章の中心的な部分と付加的な部分、例示の効果や論理の展開などを考えながら読む学習が大切です。

一（２） 主に語句・語彙や書写に関する問題

学校図書館の本を紹介するポップを作成するという言語活動を通して、文章の要旨をとらえる力や、語句・語彙や書写に関する知識を問う問題です。得点率は71.7%でした。

問一は、作成しているポップについて、（１）の文章と関連する段落を本文から選ぶ問題です。文章の段落ごとの内容をとらえ、ポップと関連付けて読むことが大切です。

問二は、漢字の読みを答える問題です。

問三は、同訓異字について、適切な漢字を選ぶ問題です。

問四は、指定された文字の部首に表れている行書の特徴として最も適当なものを選ぶ問題です。

問五は、表現の技法について適切なものを判断する問題です。

日頃から読書に親しむとともに、国語辞典や漢和辞典などを活用して、語句の意味や使い方等を確認する学習が大切です。また、楷書とともに行書の基礎的な書き方について正確に理解する学習も大切です。

二 文学的な文章の問題

本文は、バスの運転手との出会いを通して、少年の成長する姿が描かれている文章です。文学的な文章における場面の展開、情景や人物の描写から、思考力、想像力、表現力をみる問題となっています。得点率は59.3%でした。

問一は、本文中の語句を言い換えた表現を、指定された字数で抜き出す問題です。前後の文脈をたどり、内容を理解することが大切です。

問二は、単語の活用と関連付けながら、単語を類別する問題です。

問三は、情景描写を基に、本文中に脱文を補充する問題です。

問四は、会話文を通して、登場人物の心情を読み取る問題です。情景描写に注意して読むとともに、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することが大切です。(3)は、話合いの話題をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる問題です。表記や語句の用法などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にまとめることが必要です。

文学的な文章では、場面の展開、登場人物の行動や心情、情景描写、場面や登場人物の設定の仕方などに注意して読むとともに、表現の仕方や文章に表れているものの見方や考え方について、文章中の叙述を根拠にして自分の考えをもち、表現する学習が大切です。

三 古典の問題

本文は、『浮世物語』（『新編日本古典文学全集 64 仮名草子集』所収）からの出題です。現代語訳を手掛かりとして古典に親しみ、内容を理解する問題です。得点率は53.4%でした。

問一は、歴史的仮名遣いの読みを問う問題です。文語のきまりを知り、実際に声に出して音読することが大切です。

問二は、文脈における語句の意味を的確にとらえる問題です。

問三は、指示語を含む内容を正確に読み取る問題です。登場人物の言動の意味などを考え、正確に内容を理解することが大切です。

問四は、文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、話の内容を理解して、自分の考えを表現する問題です。

古典では、特有のリズムを味わうとともに、表現の工夫や効果などに注意し、登場人物や書き手の思いなどを想像しながら、文章に表れているものの見方や考え方をとらえる学習が大切です。

四 作文の問題

食品ロスの削減について、学級で意見を述べ合うという場面を想定し、食品ロス削減のために自分にできることを条件に従って、具体的に述べる問題です。複数の資料から必要な情報をそれぞれ取り上げ、自分の考えと関連付けて、文章にまとめる力を総合的に問うています。得点率は77.5%でした。

日頃から、事実や事柄についての自分の考えを、根拠を明確にしながらかつ伝える学習が大切です。また、伝える相手や目的を意識して、自分の考えが効果的に伝わるように表現を

工夫して書く学習も大切です。

〈まとめ〉

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の3領域1事項について、バランス良く出題しました。

また、言語活動を通して思考し、判断したり、複数の資料から情報を関連付けて自分の考えを形成し、表現したりすることで、実社会に必要とされる思考力・判断力・表現力をみることができるようになりました。

全体の得点率は前年度より5.5ポイント上がり、65.5%でした。

一方で、文法などの基礎的な事項や、本文の内容を的確に把握して自分の言葉で表現することに課題がみられました。

日頃から、言葉に関心を持ち、様々な情報から内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、根拠を明確にしながら自分の考えを適切に表現する学習に取り組むことが大切です。

文章を読む際には、構成や展開、登場人物などの描写に注意して読むことが大切です。文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分けて、内容を的確にとらえる必要があります。また、書いたり話したりする際には、自分の考えを効果的に伝えるために、日々の言語活動の中で、適切な語句を用いたり、構成を工夫したりすることを意識することが必要です。

令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

数 学

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用して問題を解決する力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 「数と式」「関数」「図形」「資料の活用」領域の基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題

大問2から6の出題内容を踏まえて広い範囲から出題した、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題です。得点率は75.4%でした。

(1)は、正の数と負の数の四則計算、(2)は、1次式の計算、(3)は、平方根を含む式の減法の問題です。式の計算の順序や符号に注意しながら正確に計算する学習が大切です。

(4)は、2次方程式を解く問題です。展開、移項をして式を整理し、因数分解や2次方程式の解の公式を用いて解く学習が大切です。

(5)は、コインの表裏の出方に関する確率の問題です。樹形図や表などを使って、起こり得る場合を順序よく整理して確率を求める学習が大切です。

(6)は、 y が x の2乗に比例する関数の y の変域を求める問題です。 x の2乗に比例する関数のグラフの特徴を理解することが大切です。

(7)は、 y が x に反比例する関数のグラフをかく問題です。反比例のグラフの特徴を理解することが大切です。

(8)は、直角三角形の2辺の長さから、残りの1辺の長さを求める問題です。三平方の定理を理解することが大切です。

(9)は、円の中にある図形の角の大きさを求める問題です。円周角の定理や、三角形の内角と外角の性質を理解することが大切です。

2 「資料の活用」領域のヒストグラムに関する問題

ヒストグラムから読み取った中央値や最頻値をもとに、予測したことの根拠を説明する問題です。得点率は71.2%でした。

(1)は、相対度数を求める問題です。

(2)は、中央値または最頻値を根拠に、より長い距離を飛行する紙飛行機を選び説明する問題です。

ヒストグラムや代表値に関する用語の意味を理解し、グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、根拠を説明する学習が大切です。

3 「数と式」領域の文字式の利用に関する問題

条件を満たす2つの整数の積にある数を加えると、整数の2乗になることを調べる問題です。得点率は42.6%でした。

- (1) は、奇数の2乗になることを証明する問題です。
- (2) は、条件の変化に対応し、事象に即してあてはまる数を選択する問題です。
- (3) は、条件の変化を考察し、事象に即してあてはまる数を選択したり、答えたりする問題です。
- 様々な整数を文字式で表したり、目的に応じた式変形をしたりする学習が大切です。

4 「関数」領域の1次関数に関する問題

具体的な事象を1次関数として考察し表現する問題です。得点率は30.9%でした。

- (1) は、問題文やグラフをもとに、 x と y の関係を式で表し、事象に即して説明する問題です。
- (2) は、問題文や事象に即して、1次関数のグラフの特徴をもとにグラフが通る点の座標を求める問題です。
- (3) は、事象を1次関数の式を用いて表し、2直線の交点の座標から時刻を求める問題です。

関数の式や表、グラフを適切に用いて、事象を考察し説明する学習が大切です。特に、事象を具体的な1次関数の式やグラフで表すことや、2直線の式を連立方程式として解くことで2直線の交点の座標が求められることを理解し、問題解決の過程を筋道立てて表現する学習が大切です。

5 「図形」領域の平面図形に関する問題

平行四辺形の性質について、論理的に考察し表現したり、図形を計量したりする問題です。得点率は29.4%でした。

- (1) は、平行四辺形であることの証明をもとに、条件が変わった四角形が平行四辺形になる証明を完成させる問題です。
- (2) は、平行線の性質を活用し、2つの三角形が合同になることを証明する問題です。
- (3) は、相似比を活用し、四角形の面積を求める問題です。

図形の性質を三角形の合同条件や相似条件、平行四辺形になる条件などをもとに確かめ、構想や見通しを立てて証明したり、証明されたことがらを確かめたりする学習が大切です。また、与えられた図形の中に既習の図形を見だし、基本的な図形の性質を用いて、図形の線分の長さの比や面積などを求める学習が大切です。

6 「図形」領域の空間図形に関する問題

図形についての直観的な見方や考え方とともに、図形の計量についての基本的な技能を活用し、空間図形を論理的に考察する問題です。得点率は19.5%でした。

- (1) は、辺と面との位置関係から条件を満たす辺を答える問題です。
- (2) は、空間図形の一部を平面図形としてとらえ、面積を利用して線分の長さを求める問題です。
- (3) は、空間図形に対する見方や考え方を活用し、三角すいの体積を求める問題です。

空間図形では、まず、図形についての基礎的な概念や基本的な性質を理解することが大切です。さらに、目的に応じて空間図形の一部を平面図形としてとらえたり、空間図形を分割して既習の図形としてとらえたりする学習が大切です。また、空間図形の見取図をかいたり、見取図から図形の性質を読み取ったりすることで、その空間図形のもつ性質を考察し、表現する学習が大切です。

〈まとめ〉

全領域において、数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より8.1ポイント下がり、47.6%でした。

数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それらを活用して論理的に考察し表現する学習に取り組むことが大切です。特に、数学的な見方や考え方を働かせて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、問題解決の過程を説明する学習に取り組むことが大切です。

令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

社 会

基礎的・基本的な知識や概念等の確実な定着と思考力・判断力・表現力を身に付ける学習を中心に取り組みましょう。

問題内容・得点状況等

1 古代から現代までの日本の歴史に関する問題

わが国の政治やわが国と世界とのかかわりについて作成した表をもとに、わが国の古代から現代までの歴史の大きな流れや各時代の特色を問う問題です。得点率は64.1%でした。

問1は、古代の文化について関係の深い人物を選ぶ問題です。

問2は、中世の武家による支配について、資料から読み取れることをもとに説明文を完成させる問題です。

問3は、中世のわが国と世界とのかかわりについてのできごとを選ぶ問題です。

問4は、近世におけるわが国と近隣諸国との交易や交流について最も関係が深いものを選ぶ問題です。

問5は、近代のわが国における条約改正に関するできごとを年代順に並べる問題です。

問6は、第二次世界大戦後の民主化政策について、資料をもとに指定された語句を使い説明する問題です。

歴史上の人物やできごとなどについて調べたり考えたりする際に、年表や資料等を活用しながら、わが国の各時代の政治、経済、社会、文化等の大きな流れや、それぞれの時代の大まかな特色を理解する学習を進めることが大切です。

2 近代以降の日本や世界の歴史に関する問題

近代以降のわが国の産業や経済について作成したカードをもとに、近現代の歴史の大きな流れや各時代の特色を問う問題です。得点率は56.4%でした。

問1は、日清戦争前後のわが国と諸外国との関係について適切な語句を選び、説明文を完成させる問題です。

問2は、高度経済成長期以降のわが国の耐久消費財の普及について、資料から適切に情報を読み取り、あてはまるグラフを選ぶ問題です。

問3は、資料から読み取れることをもとに、世界恐慌がわが国の経済に与えた影響を説明する問題です。

問4は、近代から現代までのわが国にかかわる産業や経済について示したカードを年代順に並べる問題です。

近現代の歴史では、わが国のできごとを世界の動きの中でとらえることが大切です。また、時期に着目しながら、複数のできごとを政治や経済等の面から比較したり関連付けたりして考察する学習や、現在とのつながりという視点からできごとをとらえる学習を進めることが大切です。

3 世界の地理に関する問題

地図や資料から、各州の地域的特色について問う問題です。得点率は63.0%でした。

問1は、世界の気候の特色についての知識をもとに、指定された都市の雨温図を選ぶ問題です。

問2は、地図に示された国々で主に信仰されている宗教の名称を答える問題です。

問3は、地図を活用して、時差をもとに地球上の位置をとらえる問題です。

問4は、資料をもとに、ヨーロッパ州における地域の結び付きについての説明文を完成させる問題です。

問5は、複数の資料を読み取り、読み取った内容をもとにアフリカ州や南アメリカ州における経済面での特色について説明文を完成させる問題です。

日頃から、日本と世界各地の自然環境や人々の生活、経済、文化等の違いに関心を持ち、世界地図や各種の統計資料を読み取って比較したり、関連付けたりして、そうした違いの要因を様々な面から考えることで、地域的特色をとらえる学習を進めることが大切です。

4 日本の地理に関する問題

地図や資料から、日本の大まかな地域構成や各地方の地域的特色について問う問題です。得点率は58.2%でした。

問1は、人口密度に関する資料を読み取り、都道府県の名称と都道府県庁所在地を答える問題です。

問2は、複数の資料をもとに、関東地方の工業の特色について指定された語句を使い説明する問題です。

問3は、地形図から必要な情報を読み取り、説明文を完成させる問題です。

問4は、自然環境と農業、人口の資料から読み取れることを関連付けて考察し、適切な地方を選ぶ問題です。

日頃から各地域における自然環境と人々の生活のつながりについて理解を深めるとともに、地図や各種の統計資料に親しみ、それらに示された情報と既習の知識を結び付けて、地域的特色をとらえる学習を進めることが大切です。

5 現代の政治、経済、社会に関する問題

情報化の進展と社会の変化についてのレポートをもとに、政治、経済の仕組み、現代社会の諸課題等の基礎的・基本的な知識や概念について問う問題です。得点率は51.8%でした。

問1は、わが国の情報化について、適切な語句を選ぶ問題です。

問2は、資料をもとに、わが国における新しい人権について適切な語句を選ぶ問題です。

問3は、資料から読み取れることをもとに、わが国における選挙の意義と政治的な課題について説明文を完成させる問題です。

問4は、資料をもとに、株式会社の仕組みについて説明文を完成させる問題です。

問5は、通貨価値の概念を用いて、日本銀行の金融政策について考察し、説明文を完成させる問題です。

問6は、図をもとに、クレジットカードの仕組みと消費者が留意すべき事について考察し、指定語句を使い、説明する問題です。

日頃から教科書にある基礎的・基本的な知識を理解することが大切です。また、新聞やテレビ、インターネット等の情報を積極的に収集することで、現代社会の変化を読み取り、関心をもって諸課題が起こっている原因や影響をとらえ考察する学習を進めることが大切です。

6 現代社会の課題に関する問題

高齢者の雇用の事例をもとに、安心して暮らせる社会の実現に向けた取り組みの現状と課題について問う問題です。得点率は58.5%でした。

問1は、複数の資料をもとに、わが国の少子高齢化の現状について説明文を完成させる問題です。

問2は、資料から読み取れることをもとに、わが国で高齢者の就業支援が行われている背景を考察し、説明する問題です。

問3は、資料をもとに、働くことの意義についてあてはまる内容を答える問題です。

日頃から、広い視野で社会に関心をもち、社会科の学習で学んだことを活用して、現代社会が抱える諸課題について、資料から読み取れることをもとに多面的・多角的に考察し、表現する学習を進めることが大切です。

〈まとめ〉

各分野にわたり、地図・統計・図表等様々な資料を提示し、基礎的・基本的な知識、概念、資料を活用する技能や、これらの知識、技能を用いて思考・判断・表現する力を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より10.3ポイント上がり、58.6%でした。

日頃から社会の様々なできごとに対して「なぜだろう」という疑問をもつことが大切です。また、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、様々な資料が示す意味を読み取ることが重要です。その際、年代や分布、推移と変化等に着目して資料を読み取れることを意識しましょう。さらに、複数の資料から読み取れることを関連付けて考察し、ノートにまとめたり発表したりするなど、相手に分かりやすく適切に表現することを意識して学習することが大切です。

令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

理 科

見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を整理し、分析して解釈するなど、科学的に探究する過程を通して、基礎的・基本的な知識・技能と科学的な思考力や表現力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 生物領域に関する問題

セキツイ動物の分類と無セキツイ動物の体の特徴に関する問題です。得点率は74.5%でした。

問1は、両生類の呼吸のしかたを問う問題です。

問2は、セキツイ動物の体温の保ち方の特徴を問う問題です。

問3は、セキツイ動物を特徴によって5つのグループに分類する問題です。

問4は、無セキツイ動物の体の特徴を問う問題です。

動物を比較して共通点や相違点を見だし、特徴によって分類し、整理する学習が大切です。

2 生物領域に関する問題

植物の根が成長するしくみに関する問題です。得点率は59.2%でした。

問1は、顕微鏡の正しい使い方を問う問題です。

問2(1)は、観察結果から細胞分裂の順序を問う問題です。(2)は、根の観察結果をもとに、根が成長するしくみについての説明を完成させる問題です。

問3は、体細胞分裂における染色体の数の変化についての説明を完成させる問題です。

植物の根の観察を行い、細胞分裂のしくみを理解するとともに、観察結果を比較して根が成長するしくみを考察する学習が大切です。

3 化学領域に関する問題

蒸留を利用した混合物の分離と物質の密度に関する問題です。得点率は66.2%でした。

問1(1)は、実験器具の正しい操作について問う問題です。(2)は、エタノールと水の沸点の違いを問う問題です。(3)は、液体を加熱して気体にし、冷やして再び気体にする方法の名称を問う問題です。

問2は、物質の密度の大小関係についての説明を完成させる問題です。

混合物を加熱する実験を行い、実験結果を沸点の違いと関連付けて考察する学習が大切です。また、固体を液体に入れたときの浮き沈みを、物質の密度と関連付けて考察する学習が大切です。

4 化学領域に関する問題

物質の分解に関する問題です。得点率は59.5%でした。

問1は、水による塩化コバルト紙の色の変化を問う問題です。

問2は、炭酸水素ナトリウムの加熱により生成した物質と元の物質の性質の違いを確認する実験の方法を問う問題です。

問3(1)は、炭酸水素ナトリウムを加熱したときの化学変化を、化学反応式で表す問題です。(2)は、1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化の名称を問う問題です。

問4は、気体が発生する化学変化を問う問題です。

物質を分解する実験を行い、実験結果から、分解して生成した物質と元の物質の違いについて考察する学習が大切です。

5 地学領域に関する問題

地層に関する問題です。得点率は、68.5%でした。

問1は、地層の重なり方の規則性を問う問題です。

問2は、地層に含まれる岩石の特徴を、流水による影響と関連付けて説明する問題です。

問3は、地層が堆積した当時の環境を問う問題です。

問4は、地層の重なり方を柱状図に表現する問題です。

地層のでき方や重なり方を調べる活動を行い、地層の重なり方や広がり方についての規則性を見だし考察する学習が大切です。

6 地学領域に関する問題

日本の春の天気の特徴に関する問題です。得点率は、41.9%でした。

問1は、高気圧の中心部の気流と地上付近の風のふき方を問う問題です。

問2は、寒冷前線が通過するときの風向の変化を問う問題です。

問3は、天気図から読みとれる気圧配置や天気の変化を関連付けて、春の天気の特徴についての説明を完成させる問題です。

天気や気温、風向等の気象観測のデータから気象現象の起こるしくみと規則性を見だし考察する学習が大切です。

7 物理領域に関する問題

電流回路に関する問題です。得点率は、50.5%でした。

問1は、電気用図記号を使って直列回路を回路図で表す問題です。

問2は、並列回路の合成抵抗を求める問題です。

問3は、直列回路と並列回路の各抵抗に流れる電流の大小関係を問う問題です。

問4は、電気器具が消費する電力と電力量の関係から使用時間を求める問題です。

直列回路と並列回路に流れる電流を調べる実験を行い、電流や電圧、抵抗について、それぞれの規則性を見だし考察する学習が大切です。

8 物理領域に関する問題

物体の運動とエネルギーに関する問題です。得点率は、63.3%でした。

問1は、一直線上を一定の速さで進む運動の名称と、球にはたらいっている垂直抗力を問う問題です。

問2は、球の高さと木片が動いた距離の関係を表したグラフから、球の質量と位置エネルギーの関係を読みとる問題です。

問3は、球の運動エネルギーの変化をグラフに表現する問題です。

斜面を転がる球を木片と衝突させる実験を行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する学習が大切です。

〈まとめ〉

授業で行う観察、実験を中心に、各分野から出題しました。その際、自然科学の概念と科学の方法を用いて課題を解決する力をみるように配慮しました。また、観察、実験の結果や資料から図や表、グラフを用いて考察する問題を出題しました。

全体の得点率は前年より7.6ポイント上がり、60.4%でした。

理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験に主体的に取り組み、結果を整理し、図やグラフなどにまとめ考察したり、柱状図や天気図等の資料から得られる情報を日常生活や社会と関連付けて説明したりする学習に取り組むことが大切です。

令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

英 語

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔発表〕」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」の4技能（5領域）を高め、思考力・判断力・表現力等を身に付ける学習を繰り返し行いましょう。

問題内容・得点状況等

【英語リスニングテスト】

英語の質問に英語で適切に答えたり、まとまりのある英文の要点を聞き取ったりする問題です。得点率は57.0%でした。

問題1は、文字を介さずに短い質問や呼びかけを聞き取り、適切な応答を選ぶ問題です。

問題2は、表を見ながら、情報を正確に聞き取り、質問に答える問題です。

問題3は、2人の対話の要点を正確に聞き取り、質問に対する答えを選ぶ問題です。

問題4は、国際交流センターでのイベントについての説明の概要や要点を聞き取り答える問題と、関連する質問を聞いて、自分の考えを表現する問題です。

質問を素早く正確に聞き取り、即座に答えたり、まとまりのある英文を聞きながらメモをとり、メモをもとに質問に答えたり、自分の考えを表現したりするなどの学習を行うことが大切です。

【英語筆記テスト】

1 「話すこと」に関する問題

対話文を読んで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現する力を問う問題です。得点率は68.5%でした。

英文の意味と構造を理解する学習を行うだけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを想定して英語でやり取りする学習を行うことが大切です。

2 「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題

会話とメールを読んで、概要や要点をとらえる力を問う問題です。異文化理解を話題としたもので、外国の文化は、実際に体験することでより理解を深めることができるというメッセージを読み取り、関連する問いに答えます。得点率は54.6%でした。

問1は、会話の内容を正確に把握し、語と語のつながりに注意して、正しい文を完成させる問題です。

問2は、会話の内容を把握し、問いかけに対する適切な応答を選ぶ問題です。

問3は、会話とメールの概要と要点を正確に把握し、適切な文を完成させる問題です。

問4は、会話とメールの要点を把握し、質問に答える問題です。

日頃から、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして概要や要点をとらえ、それをもとに話したり書いたりする学習を行うことが大切です。

3 「読むこと」「書くこと」に関する問題

まとまりのある英文を読んで、概要や要点をとらえる力や、読み取った内容について自分の考えを表現する力を問う問題です。主人公が部活動の顧問の先生からの助言を受けて取り組んだことを通して、努力することは本人だけでなく他者にも良い影響を与えることに気付くという内容を読み取ります。得点率は58.9%でした。

問1は、英語による質問の答えとして適切な情報を読み取り、英文で答える問題です。

問2は、英文の流れを考えて下線部の語句の意味を推測し、同じ意味を表す語句を選ぶ問題です。

問3は、下線部の代名詞が示す具体的な内容を読み取り、日本語で説明する問題です。

問4は、英文の概要や要点を正確にとらえ、内容に合う文を選ぶ問題です。

問5は、英文に関連する質問について、自分の考えを表現する問題です。

日頃からまとまりのある英文を読んで、書き手が伝えようとすることや自分に必要な情報などを整理したりメモにまとめたりする学習が重要です。また、そのメモをもとに自分がもっている知識やこれまでの経験と結び付けて、自分の考えや気持ちなどを英語で表現する学習を行うことが大切です。

4 「書くこと」に関する問題

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、自分の考えが相手に正しく伝わるように、全体として一貫性のある英文を書く力を問う問題です。

英語の先生が、2種類の無料英会話クラスを開くという場面設定で、どちらのクラスを受けたいか、2つのクラスについて触れながら、自分の考えを理由とともに30語以上で書く問題です。得点率は50.2%でした。

身近な出来事について自分が考えたことや感じたことを伝えるために、文と文のつながりや順序、文章の構成を意識しながら、全体として一貫性のある英文を書く学習を行うことが必要です。また、自分の考えが読み手に正しく伝わるように、理由を明確に述べたり、具体的な説明を加えたりして書く学習が大切です。

〈まとめ〉

中学生にとって身近な場面を取り上げ、基礎的・基本的な知識を活用して、英語を理解したり表現したりする問題を出題しました。全体の得点率は前年度より3.0ポイント上がり、57.7%でした。

英語でのコミュニケーション能力の一層の向上が求められる中で、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔発表〕」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」の4技能（5領域）をバランスよく高めることが重要です。そのためには、語彙や表現を充実させるとともに、素早く正確に聞き取り、即座に応答する学習を行うなど、目的や場面、状況等に応じたコミュニケーションを行う学習に繰り返し取り組むことが大切です。